

直轄石川海岸（小松工区）の事業推進

石川県小松市

- 安全で安心な地域づくり

事業の概要

石川海岸は、加越沿岸の中央に位置し、背後には加賀平野を代表する穀倉地帯が広がっており、近年は海岸沿いの砂丘地も工場地帯や住宅地として発展しています。また、石川海岸は冬期風浪による侵食が著しく、明治以降数百mにおよぶ海岸侵食を受け災害が相次いだことから、直轄海岸保全施設整備事業として、直立堤防・緩傾斜堤・離岸堤・人工リーフの整備を実施しています。

小松工区（5, 540m）は平成16年6月に直轄管理区間となり人工リーフ工事に着手しており、平成20年度は5基目の人工リーフを完成させます。

整備効果

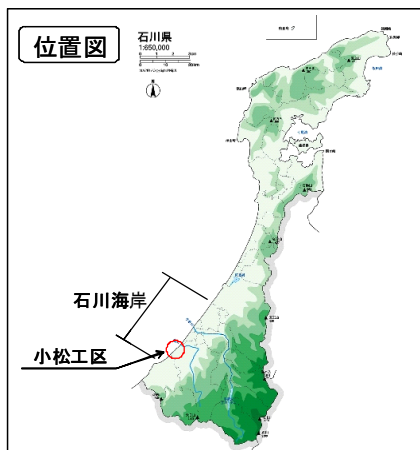
冬期風浪や台風による侵食を防ぎ背後地の安全が確保されるとともに、近年頻発している災害を防ぎます。

事業着手

平成16年度

平成21年度の事業内容

毎年波浪により堤防護岸の決壊や堤防天端陥没等の被災が相次いでいる小松工区において、6基目の人工リーフの完成を目指します。



平成21年度実施箇所
【小松市日末地先】（平成18年5月撮影）